ASTC アジアカップ 村上笹川流れ国際トライアスロン 2019 エイジランキングイベント (新潟県村上市)

報告

日 時:2019年9月15日(日)

スタート:10時00分

参加者数:750人

距 離:スタンダードディスタンス 51.5 km

結果:総合5位

(年齢別1位)

総合タイム 2 時間 10 分 01 秒(<u>http://www.jtu.or.jp/results/2019/19murakami_age_result.pdf</u>) スイム 1. 5km 23 分 05 秒(19)・バイク 40km 1 時間 07 分 36 秒(8)・ラン 10km 39 分 20 秒(11)

※()内はカテゴリー順位

昨年は台風の影響で向かう事が出来なかったが常連のレース。それを大会側もわかってくださり、スタート前やゴールの時、表彰の時はそのことをアナウンスして下さる。乗り越えながら継続したとき、このように思ってもいない形も生み出されるのだと感じる。皆様の会社でも、しんどい時や有頂天になれるときなどあったと思う。継続していくことがどんなに大変なことなのかは痛感されているだろう。進む形は違えど、人としての想いの共通点や、耐え忍ぶ時の想いは一緒だと思う。

40歳になって後半になるが、この大きな大会で久々に総合でも 5本の指に入る形になった。スポーツトライアスロンだが、スポーツ界での年齢の負担は大きいが、人生の経験が糧になるのもトライアスロンだと思っている。

今回は行きで伊丹空港から飛び立つはずの飛行機に部品交換が発生・・・乗っていても飛び立たなく1時間遅れで飛行場へ戻され、これ以降すべて満席で便がなかった。陸路で新潟へ向かうことになり今日できる調整などすべて出来なくなる。体調も崩れる可能性の方が高かった。東京駅経由で特急に乗り新潟駅、そこからレンタカーで村上市へ入ったのは22時。思ったのはこういう時こそチャンスにする。言葉使いや行動がそれを導くものだと思っている。「明日はうまくいく!」根拠のない根拠を持っている私には未来を開く運を持っているのだろうと思えることが多い。その裏には思いやりの力もあるのだと思う。

飛行機から降りることが決まった時には、戻るにもバスの順番があり最後になった。CA さんが本当に申し訳ないお顔をされていた。私はこんなことは初めてだと話しかけ、良い経験ができたし明日はきっといいことがあると笑顔になって見せた。記念に写真でも撮りましょう!と撮ったのが掲載写真だ。

自宅から車で伊丹空港まで3時間。伊丹から陸路8時間・・・大きなバイクケースを引っ張りながら、列車の車両にも乗せる場所を確保しながらそれは大変でした。明日、体が動くかどうかは別にして、とにかく挑戦はすると決め就寝した。スタート地点では多くの知人が状況を把握しており、だからこそびっくりさせてやりたいと思った。レースに入ってもきつい場面は多かったが、多くの想いを想えるから頑張れた。これを力にしてまた進んでいきたい。

これで4連戦中の3連戦が終了。今週末は大阪城大会。天候が気になるところであるが、想い信じて挑戦してきたいと思う。















